

---

## 音楽科教育部会

---

### 「わたしの音楽 みんなで音楽」

～音楽を形づくっている要素を感受し 自ら広げる音楽の世界～

#### 主題設定の理由

新学習指導要領では、一人ひとりの児童生徒がより主体的に音楽を学ぶことを目指している。子どもたちがその音楽のよさを感じ取り、思考、判断して自分たちのイメージにあった表現を導き出そうとするなど、音楽の授業が「思考・判断・表現」する場となることが一層求められている。そして、「私を感じた音楽」「私が工夫した音楽」「私が表現した音楽」「私がつくった音楽」など、音楽を通した自己実現として表れたり、「私がいいなと思う音楽」「私が好きな音楽」など、一人ひとりが自分の価値観を持って音楽を愛好し、自分の言葉でその音楽のよさを説明したりすることをできるようにすることが、音楽の学力として求められている。

このように子どもたちが音楽を価値あるものとして受け入れたり、目の前の音楽を形づくっている要素について知り、感じ取ったイメージから工夫を考えたり、お互いのイメージを共有しながら、みんなで音楽を試行錯誤したりする活動は、とても重要であると考えられる。

子どもたち一人ひとりに「その子の音楽」が根付き、音楽を通した自己実現として表れることを願い、本主題を設定した。

## I 研究の内容

### 1 研究の具体的内容

#### (1) 教材研究

- ・音楽科としておさえるべき基礎・基本の分析
- ・教材選択の視点の明確化
- ・講習会（ハンドクラップ リコーダー）

#### (2) 授業研究

- ・子どもたちがそれぞれの思いを実現し、音楽的満足感を味わえる授業の工夫
- ・音楽を形づくっている諸要素をどのように知覚・感受させ、よりよい表現につなげていくか
- ・小中学校の発達段階に合わせた系統性のある指導について

#### (3) 明日の授業づくりと教師の技能向上のために

- ・平成25年度東山梨小中学校音楽発表会での合唱実践
- ・教職員音楽発表会出演（合唱とハンドクラップ）
- ・授業にいかせる講習会
- ・毎回の実践研修（合唱）

## 2 研究の方法

### (1) 教協研究日 (10回のうち統一授業研究日 2回)

- ・加納岩小学校 鈴木 千秋先生 (8月)
- ・笛川中学校 五味 伸子先生 (2月)

### (2) 講習会・学習会

- ・講師：長谷部匡俊先生 「授業や発表にいかせる音楽活動の実際」(6月)
- ・講師：笠松 徳司先生 「リコーダー実技講習会」(8月)

## II 成果と課題

今年度は、これまでの研究をいかしながら、教師自身の力量の向上を視野に入れた講習会の実施、ともに学びあえるように通年の合唱曲を決め毎回合唱をする実践も盛り込んだ。

「授業や発表にいかせる音楽活動の実際」と題した講習会では、教科書にも曲を書き下ろしている作曲家を講師に迎え、ハンドクラッピングの教材を実際に演奏しながら、指導の過程でのポイントを含めて講習を受けた。「音楽を合わせる力」を体験を交えて学ぶことができて大変参考になった。夏休みには、リコーダーの指導者から実技の実際や、指導していく過程での様々な工夫を学んだ。実際に演奏をしながら受ける講習は、方法や手立てを学べるだけでなく、自分たちが受講者であるので児童生徒の気持ちになって学ぶ重要なチャンスとなり有意義である。

研究主題に迫るために、「音楽を形づくっている要素を感受する活動」を仕組み、「できた」「わかった」を実感できる授業の工夫、子どもたちの関心・意欲を高め自己実現を図れるような授業づくりの工夫にとりくんできた。2回の研究授業では、こういったねらいを踏まえ授業提案がなされ、事前に部会員全員で検討会を行い、授業の流れや内容などを共通理解した上で臨むことができた。授業の中で子どもたちは、「自分の音楽」を組み立てた後、言葉や音・音楽の要素などを交えてグループ内でのやりとりをし、さらに練り上げた「私たちの音楽」へと高めていく姿がみられた。研究討議の中で、実態に即した教材選択の在り方や小中連携を意識した指導について討議が深まり大変有意義であった。教師側が9年間の発達を意識して系統的に学びを仕組むこと、聴き取る力・感じ取る力を高めること、子どもたち一人一人が自分の思いや意図を伝え合うことなどが重要であることを再確認できた。

来年度も今年度のテーマを踏まえて研究を進めていく方向で、東山梨の独自性をもち、今年度積み残しであった「今」に即した授業展開(デジタル教科書、デジタル端末・機器の活用)の研修を積極的に設定したいと思う。生活の中に数多ある「音楽」との出会い、小さな積み重ねを大切にして、自分の思いを表現できる児童生徒を育てていく研究を深めていきたい。

## III 成果物

- 小学校 第6学年 「曲想を味わって演奏しよう。」  
加納岩小学校 鈴木 千秋先生
- 中学校 第1学年 「自分で作った曲を使ってリズムアンサンブルをしよう。」  
笛川中学校 五味 伸子先生

(部長 萩原久子)